

東北地方 1か月予報

(8月14日から9月13日までの天候見通し)

平成16年8月13日
仙台管区気象台発表

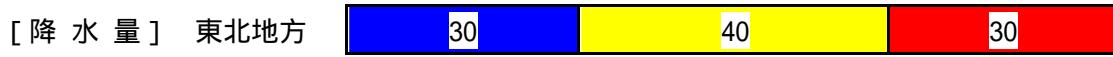
<特に注意を要する事項>

厳しい暑さは、東北北部ではすでに解消しており、東北南部も今日（13日）まででしょう。明日（14日）以降の気温は平年並の見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。
前線や寒気の影響で天気のぐずつく時期もありますが、太平洋高気圧に覆われて平年と同様に晴れるでしょう。
向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。
週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並、3～4週目は平年並か高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>



■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率（%）>



■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 8月14日(土)～9月13日(月)

1週目 : 8月14日(土)～8月20日(金)

2週目 : 8月21日(土)～8月27日(金)

3～4週目 : 8月28日(土)～9月10日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月20日

3か月予報：8月25日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	21.9	223.9	138.0	23.1	22.6	21.3
新庄	22.4	167.9	150.0	24.1	23.3	21.6
若松	23.3	131.5	171.7	24.9	24.3	22.6
深浦	21.8	176.1	172.6	23.2	22.6	21.2
青森	21.7	137.0	176.6	23.1	22.4	21.1
むつ	20.5	166.0	142.2	21.7	21.1	19.9
八戸	21.1	171.7	155.0	22.4	21.8	20.6
秋田	23.1	195.3	183.9	24.8	24.0	22.3
盛岡	21.6	184.8	139.5	23.3	22.6	20.8
宮古	21.1	206.1	143.0	22.3	21.9	20.5
酒田	23.5	195.4	187.3	25.1	24.4	22.7
山形	23.1	150.7	161.4	24.7	24.0	22.3
仙台	22.9	194.8	135.8	24.1	23.7	22.4
石巻	22.5	146.7	156.3	23.6	23.2	22.0
福島	23.8	156.3	137.5	25.3	24.7	23.2
白河	22.0	242.7	136.4	23.4	22.8	21.5
小名浜	23.4	164.3	172.6	24.1	23.9	23.1

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.4	79~118	91~107
東北日本海側	-0.4~+0.6	81~110	91~107
東北太平洋側	-0.3~+0.4	75~119	89~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.8	-0.5~+0.7	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.6~+0.8	-0.5~+0.7	-0.6~+0.7
東北太平洋側	-0.6~+0.9	-0.5~+0.8	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年8月13日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(8月14日~9月13日):

前線や寒気の影響で天気のぐずつく時期もありますが、太平洋高気圧に覆われて平年と同様に晴れるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(8月14日~8月20日):

明後日(15日)と期間の終わりに、気圧の谷の影響で雨の降る所がありますが、その他の日は高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(8月21日~8月27日):

前線や寒気の影響で曇りや雨の日もありますが、太平洋高気圧に覆われて平年と同様に晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(8月28日~9月10日):

前線や寒気の影響で天気のぐずつく時期もありますが、太平洋高気圧に覆われて平年に比べて晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

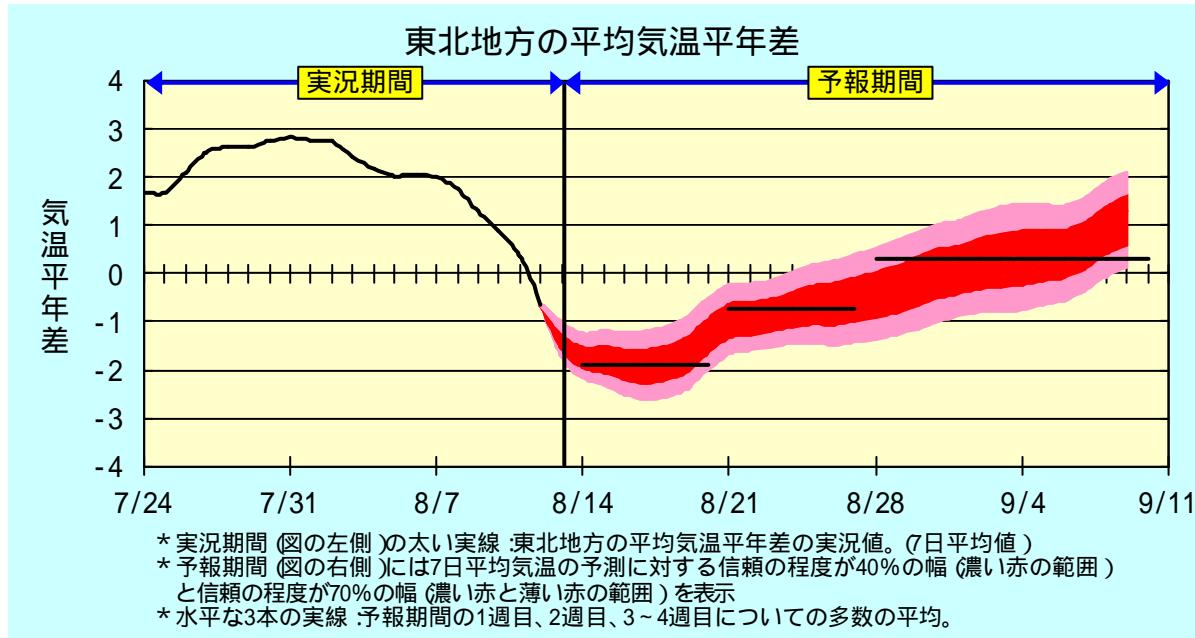
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.1日	4.1日	3.8日	7.2日
東北太平洋側	12.9日	3.5日	3.3日	6.1日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目を「低い」、2週目を「低い」、3~4週目を「平年並」と予想している。予報は、実況や週間予報の資料等から1週目、2週目を「平年並」、3~4週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

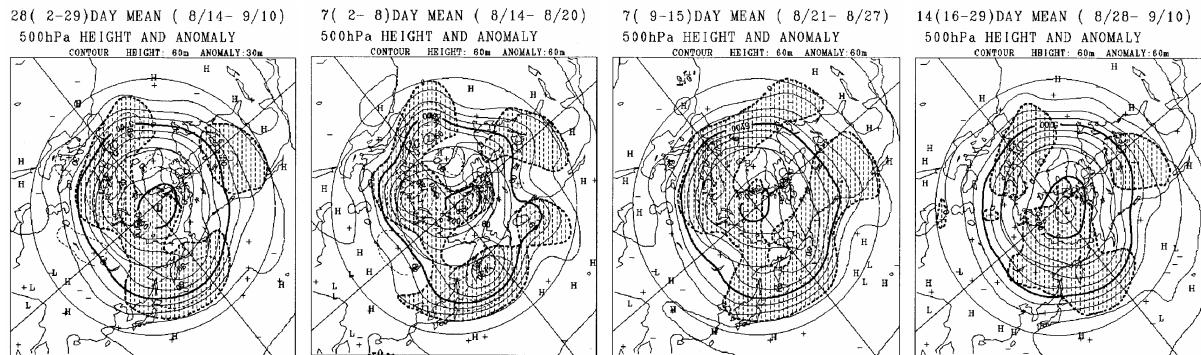


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、北日本は千島の東海上に中心を持つ負偏差に覆われるが、日本の南岸には亜熱帯高気圧が張り出す。偏西風の流れは順調で、天気は概ね周期的に変化する。

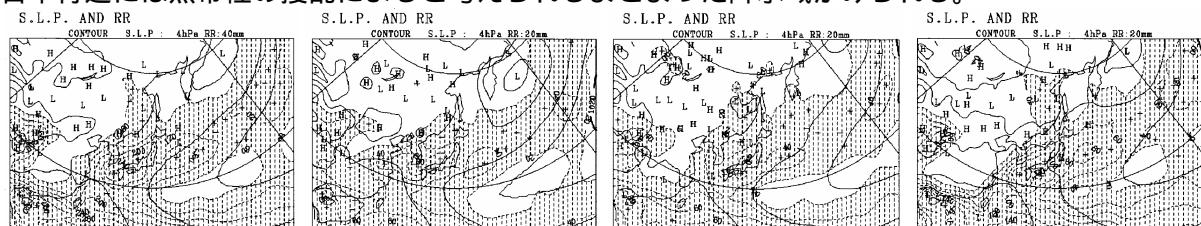
2週目にかけて、1週目をピークに日本付近は負偏差に覆われて、前線や寒気の影響を受ける見込み。3~4週目は亜熱帯高気圧が張り出し、日本付近は正偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、太平洋高気圧が日本の南海上に張り出し、日本付近にまとまった降水域が見られる。

2週目にかけて、太平洋高気圧が日本の南海上に平年より強く張り出しが、日本付近には前線や寒気によるまとまった降水域がかかる。3~4週目は、太平洋高気圧が日本付近に張り出しが、日本付近には熱帯性の擾乱によると考えられるまとまった降水域がみられる。

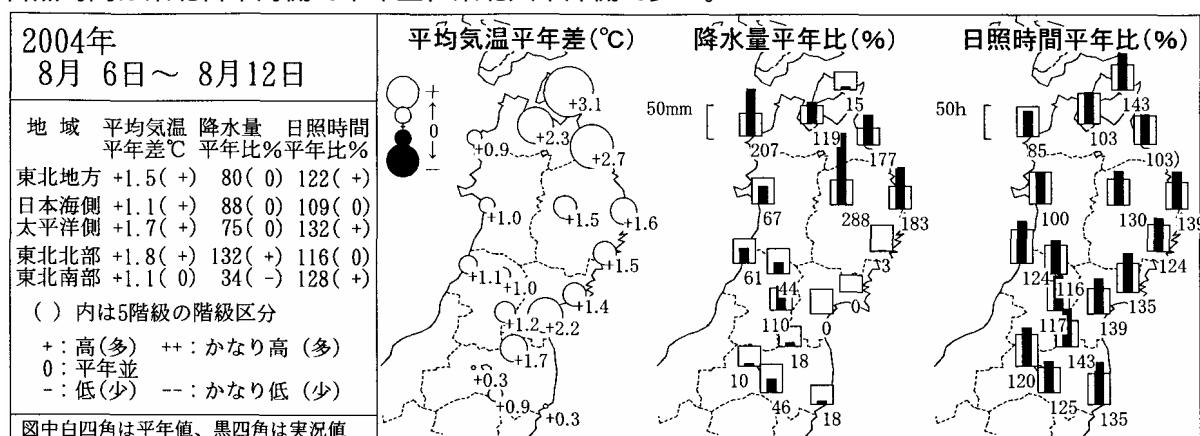


4. 最近1週間（8月6日～8月12日）の天候の経過

6日は、東北北部を台風第11号から変わった熱帯低気圧が通過したため大雨となり、秋田県では浸水や停電などの被害が出た。その後は高気圧に覆われて概ね晴れたが、上空の寒気や前線の影響で各地で雷雨となった。

なお、6日には高温と少雨に関する東北地方気象情報第3号を発表した。

平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で多く、東北南部で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）